

## 「病理学的に診断された非アルコール性脂肪性肝疾患を背景とした肝細胞癌治療効果に関する検討」に関する研究

### 1. 研究の対象

2018年3月23日～2022年12月31日に当院において肝生検を受け、NAFLDと診断された方

### 2. 研究目的・方法

非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）は肥満やインスリン抵抗性を基盤として発生する脂肪肝のうち、アルコール性肝障害を除外したものを指し、世界的な肥満人口の増加を背景として、近年急速に増加しています。以前はNAFLDは良性の経過を辿ると考えられており、末期肝硬変症例や肝癌合併例は稀でしたが、NAFLDの増加と共に線維化を伴う進行性の非アルコール性脂肪肝炎（NASH）が増加しており、本邦においてもウイルス性肝炎を背景としない肝癌増加の主要な原因と考えられています。

現在、肝細胞癌に対する標準治療は背景疾患によらず共通であり、背景疾患毎の生存予後や治療反応性に関してははっきりとしていません。

病理学的に非アルコール性脂肪性肝疾患の診断を受けた方に発症した肝細胞癌における実臨床での標準化学療法の有用性、安全性について、2018年3月23日～2022年12月31日の期間にNAFLDと診断され肝細胞癌の化学療法を受けた患者さんを対象に、日常診療で得られた診療情報を基に調査・検討することになりました。

尚、この研究は倫理委員会承認日から2026年3月31日まで実施される予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

日常診療において既に検査が行われている患者さん情報（病歴、既往歴、治療歴、血液検査結果、エコー・CT・MRIなどの画像検査所等）を用いて研究を行います。

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、外部研究機関へ試料・情報の提供をすることがありますが、情報は匿名化を施し個人を識別可能な情報は提供いたしません。

### 5. 研究組織

JA 広島総合病院 消化器内科

野中裕広（研究代表者）

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：野中裕広

(JA 広島総合病院 消化器内科 部長、肝臓内科主任部長 (光学医療領域担当))

担当医師：相坂康之

(JA 広島総合病院 消化器内科 部長、肝臓内科主任部長)

【連絡先】

電話：0829-36-3111、Fax：0829-36-5573

-----以上